

水害被害後の乾燥機・保冷庫の対応について

 静岡製機株式会社

1. 乾燥機の初期対応

**※水害後の機械の通電は感電等恐れがあり危険です！
下記事項完了まで電源は投入しないでください。**

- ①水害にあった部位などを取り外し、水洗いして天日干しし、完全に乾かしてください。
- ②本体の外側や内部、昇降機の下部などの泥や汚れを洗い流して、水滴をふき取り完全に乾かしてください。
コネクタなど細かな部分も出来る限り泥を洗い流し、水を切って完全に乾かしてください。

< ポイント: 浸水した部位は水洗いし、完全に乾かしてください >



機械が濡れていないこと、完全に乾いている事を確認できたら・・・

- ①電源を入れ、漏電ブレーカが作動しないことを確認してください。
- ②送風運転、張込運転、乾燥運転の順に確認し、異音等がないことを確認してください。
- ③販売店へご相談ください。

注意

- 漏電ブレーカが作動した場合は、機械には触れずに販売店、メーカーにご相談してください。
- 暫く運転できる事はありますが、浸水した部品は最終的に、部品交換となる場合があります。

部品交換が必要な場合でも、機種により供給年限切れで対応が出来ない場合もあります。

2. 保冷庫の初期対応

**※水害後の機械の通電は感電等恐れがあり危険です！
下記事項完了まで電源は投入しないでください。**

- ①本体が水に浸かった場合には、ドアを開けて内部内容物を取り出して掃除をしてください。
- ②洗剤を使う場合は、中性洗剤を薄めたものを柔らかい布に含ませて拭いてください。
※酸性やアルカリ性の洗剤やシンナーなどの溶剤は使用しないでください。
- ③ドアを開けて内部をしっかりと乾燥させてください。(最低2～3日程度)
- ④冷蔵ユニットが水に浸かった場合には、一度きれいな水で内部を水洗いし乾かしてください。

< ポイント: 浸水した部位は水洗いし、完全に乾かしてください >



機械が濡れていないこと、完全に乾いている事を確認できたら・・・

- ①本体の設置は水平がしっかりとれていることを確認し、冷蔵ユニットを取付してください。
- ②電源を入れ、漏電ブレーカが作動しないことを確認してください。
- ③冷蔵ユニットのコンプレッサーが作動し、内部が冷えることを確認してください。

注意

- 漏電ブレーカが作動した場合は、機械には触れず、販売店、メーカーにご相談ください。
- 冷え方が悪い場合には、故障が考えられます。
- 暫く運転できる事はありますが、浸水した部品は最終的に、部品交換となる場合があります。

部品交換が必要な場合でも、機種により供給年限切れで対応が出来ない場合もあります。